

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第34週
(2025年8月18日～2025年8月24日) 2025年8月27日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定 点 種 別	感 染 症	全 国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累 積 (県)
		第33週	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第1～34週	
感 急 染 性 症 呼 吸 定 点 器	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)				(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	980	15	11	▼	1	1	▽	1	1	▼		1	△	13	8	▼					6702
		0.28	0.47	0.28		0.25	0.14		0.11	0.10			0.25		2.60	1.33						
感 急 染 性 症 呼 吸 定 点 器	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	22288	209	344	▲	9	43	△	88	100	▲	43	54	▲	30	53	▲	39	94	△		4083
		6.30	6.53	8.82		2.25	6.14		9.78	10.00		10.75	13.50		6.00	8.83		3.90	7.83			
小 児 科 定 点	(定点医療機関数)		(26)				(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
	RSウイルス感染症	1358	43	35	▽	3	10	△	18	12	▽	2		▽	17	12	▽	3	1	▼		816
		0.63	2.26	1.35		1.50	1.67		3.00	1.71		0.67			8.50	4.00		0.50	0.14			
	咽頭結膜熱	534	4	20	▲		12	△	3	4	▲	1	4	▲								427
		0.25	0.21	0.77			2.00		0.50	0.57		0.33	1.33									
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2093	11	26	△	1	10	△	4	6	△		3	△	6	6	▼		1			2100
		0.97	0.58	1.00		0.50	1.67		0.67	0.86			1.00		3.00	2.00			0.14			
	感染性胃腸炎	5296	43	94	△		18	△	18	32	△	7	4	▽	6	19	△	12	21			4821
		2.46	2.26	3.62			3.00		3.00	4.57		2.33	1.33		3.00	6.33		2.00	3.00			
	水痘	430	1	4	△					2	△		1	△	1		▽		1			371
		0.20	0.05	0.15						0.29			0.33		0.50				0.14			
	手足口病	752	9	14	▲	2	4	▽	1	1	▽	6	5	▽		3	△		1			306
		0.35	0.47	0.54		1.00	0.67		0.17	0.14		2.00	1.67			1.00			0.14			
眼 科 定 点	(定点医療機関数)		(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	11																				0
		0.02																				
	流行性角結膜炎	420																				118
		0.67																				
基 幹 定 点	(定点医療機関数)		(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2																				28
		0.00																				
	クラミジア肺炎																					0
	マイコプラズマ肺炎	558	15	11	▽	9	3	▽		2	△	3	2	▽	1		▽	2	4	▲		250
		1.16	1.50	1.10		4.50	1.50			1.00		3.00	2.00		0.50			0.67	1.33			
	細菌性髄膜炎	5																				2
基 幹 定 点		0.01																				
	無菌性髄膜炎	30		1	△					1	△											6
		0.06		0.10						0.50												

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<通 信 欄>

〇トピックスでは、「今、特に注意が必要な感染症」について掲載しています。

〇インフルエンザ情報
第34週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。
・迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
A型:10件、B型:1件 (定点医療機関からの報告)
・インフルエンザウイルス検出状況 (衛生研究所 2024.9.2～2025.8.12)
今シーズン(2024年36週～)の患者から、
AH1pdm09が214件、AH3が14件、B型が18件検出されています。

警報・注意報の基準値(参考値)

感 染 症	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

[illegible]

<全数把握感染症>

[illegible]

<トピックス>

今、特に注意が必要な感染症

〈新型コロナウイルス感染症〉

第34週における新型コロナウイルス感染症の県定点当たり報告数は8.82で5週連続の増加となりました。昨年同時期よりは低いですが、今年になってからは一番多い報告数となっています。

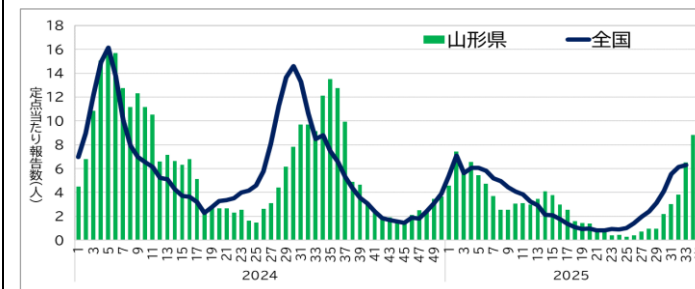


図1 新型コロナウイルス感染症 山形県・全国定点当たり報告数の推移
(2024年第1週～2025年第34週現在)

〈百日咳〉

第34週における百日咳の報告数は38人で依然として多いレベルで推移しています。

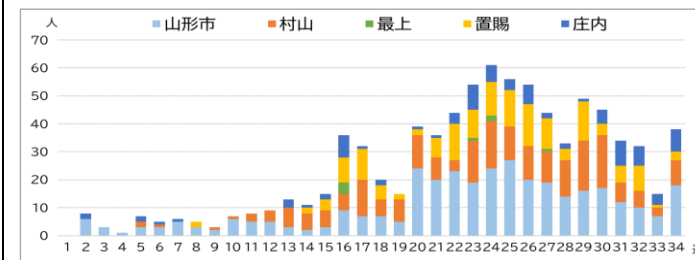


図2 百日咳保健所別報告数（2025年第1週～第34週）

〈伝染性紅斑〉

第34週における伝染性紅斑の県定点当たり報告数は6.81で、3週ぶりに増加しました。20週連続で警報レベル(参考値)となっています。

感染対策

これら感染症の感染経路は飛沫感染と接触感染です。
基本的な感染対策である「手洗い・手指消毒」「マスクの着用を含む咳エチケット」「換気」を心がけましょう。

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

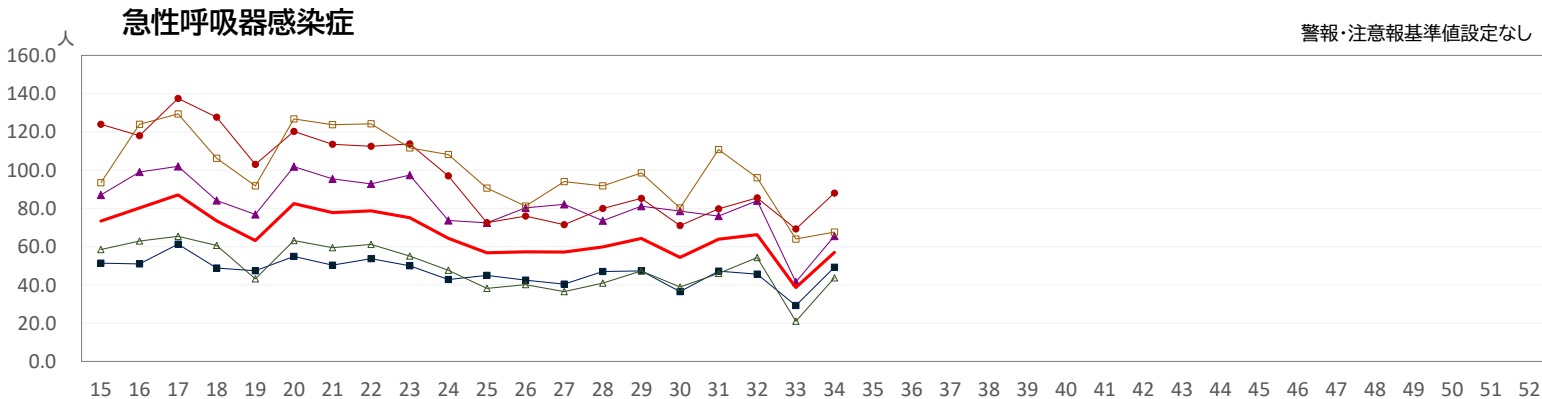
	感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第33週	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第15～34週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)																						
			(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
	急性呼吸器感染症	120683	1236	2165	Δ	166	459	Δ	263	492	Δ	277	352	Δ	320	338	Δ	210	524	Δ	50235	
	34.14	38.63	56.97	41.50		65.57	29.22		49.20	69.25		88.00	64.00		67.60	21.00		43.67				

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

	感 染 症	山 形 県												
		第34週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳～	合計	
	急性呼吸器感染症	159	736	510	186	39	65	98	75	75	78	83	61	2165

< 定点当たり報告数グラフ >



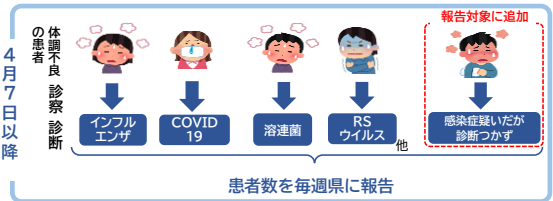
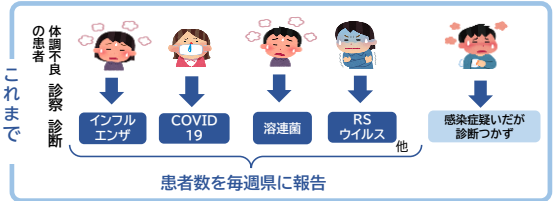
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、**症例定義※**に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

